

道の新技术・新製品開発賞

# 大賞に十勝純粋酢

道は29日、道内の中小企業の開発した優れた技術や製品を表彰する北海道新技术・新製品開発賞の大賞に、農産物卸の丸勝(帯広、梶原雅仁社長)の「十勝純粋酢」を選んだ。複数の酵素を独自に組み合わせて、デンプンの糖化を容易にし、酢にできにくかった小豆やナガイモを原料にした商品開発にこぎ着けた。



北海道新技术・新製品開発賞の大賞に選ばれた十勝純粋酢を手にする丸勝の梶原雅仁社長

丸勝は一九五三年創業で豆類を中心に扱う農産物卸。和菓子離れで豆の消費量が落ち込んでいるうえ、中国などからの輸入急増を受けて、新規事業開拓を目指し、二〇〇六年から道立食品加工研究センター(江別)と共同研究に着手した。小豆などの雑穀類は加熱すると、デンプンを取り囲んでいるタンパク質が凝固するため、発酵が進みにくい。このため複数の酵素を用いてデンプンを糖化させる手法を独自に開発し、第一号の加工商品となる「十勝純粋酢」を生み出した。

奨励賞には北大発ベンチャーのレーサーシステム(札幌)開発の「レーサースクライプ装置」を選んだ。スクライプ装置は、半導体を円状のウエハー(基板)からチップに切断する機械。ダイヤモンドの刃を使った製品が多いが、レーサー光線を照射する光学エンジンを独

## 帯広・丸勝 小豆など原料

自に開発し、切りくずの出にくい装置を開発した。

また、酪農機械製造の北原電機(同)の牛の自動給餌機「マックスフィーター」と、建築金物販売の高橋アルミ工業(同)のアルミを用いて軒先の雪庇を防止する「セツピカッター」も奨励賞に輝いた。

同賞は九八年度にスタート。十回目となる今回は道内から二十二件の応募があった。